

福井県感染症発生動向調査速報

＜＜令和4年＞＞

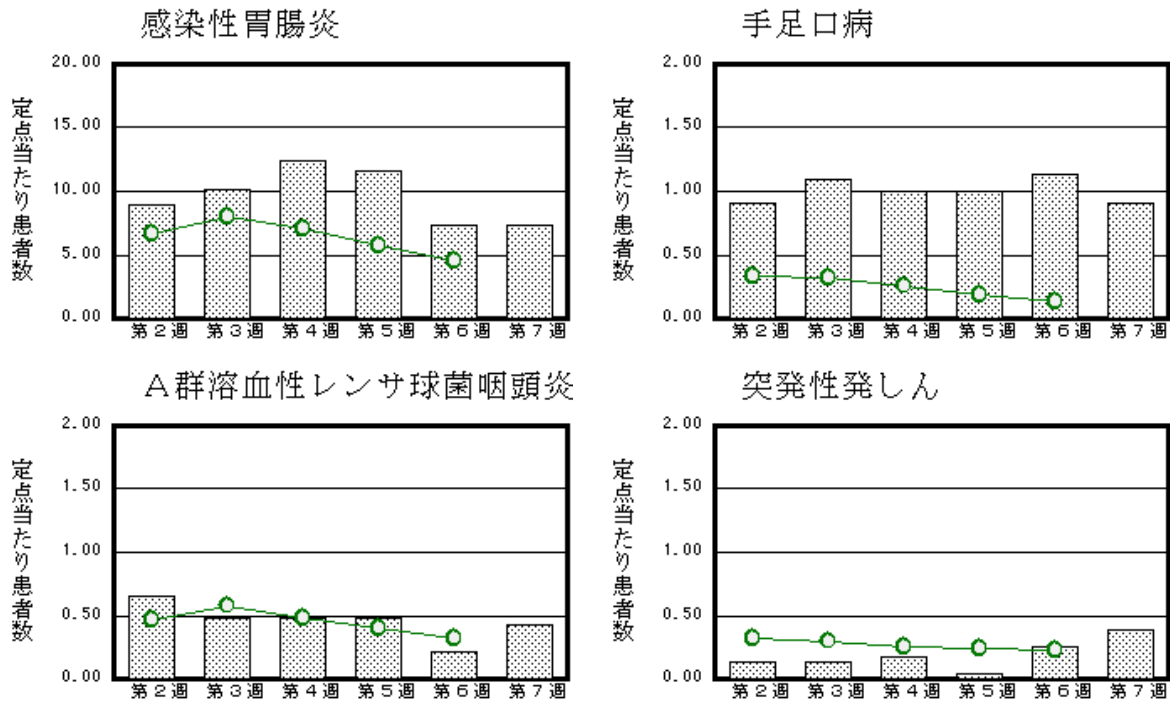
＜週報＞ 第7週（令和4年2月14日～2月20日）

発行日：令和4年2月24日

発行：福井県健康福祉部保健予防課
福井県衛生環境研究センター
kansen@erc.pref.fukui.jp

◆注目疾患の動向

- 【報告数の多い疾患】①感染性胃腸炎168名(7.30名) ②手足口病21名(0.91名) ③A群溶血性レンサ球菌咽頭炎10名(0.43名) ④突発性発しん9名(0.39名) ⑤ヘルパンギーナ7名(0.30名)
()内は定点当たり人数
- 【報告数の多い疾患】①感染性胃腸炎(168名) ②手足口病(21名) ③A群溶血性レンサ球菌咽頭炎(10名) ④突発性発しん(9名) ⑤ヘルパンギーナ(7名)
- 【感染性胃腸炎】報告数は168名です。定点当たり報告数は減少しました(7.39名→7.30名)。地域別にみると、二州地区12.33名、福井市地区8.86名、福井地区7.00名、丹南地区7.00名、若狭地区5.50名、坂井地区5.33名の順となっています。
- 【手足口病】報告数は21名です。定点当たり報告数は減少しました(1.13名→0.91名)。地域別にみると、丹南地区2.40名、二州地区2.00名、坂井地区0.33名福井市地区0.29の順となっています。
- 【A群溶血性レンサ球菌咽頭炎】報告数は10名です。定点当たり報告数は増加しました(0.22名→0.43名)。地域別にみると、二州地区1.00名、若狭地区1.00名、丹南地区0.60名、福井市地区0.29名の順となっています。
- 【突発性発しん】報告数は9名です。定点当たり報告数は増加しました(0.26名→0.39名)。地域別にみると、丹南地区0.80名、若狭地区0.50名、坂井地区0.33名、二州地区0.33名、福井市地区0.29名の順となっています。



※ 棒グラフは福井県、折れ線グラフは全国の数値を表しています。

◎ 各疾患の動向グラフについては福井県感染症情報のホームページをご覧ください。

◆感染症週報全国版の要点

2022年第5週(1月31日～2月6日)

発生動向総覧	＜第5週＞インフルエンザの定点当たり報告数は2週連続で減少した
注目すべき感染症	＜感染性胃腸炎＞2022年第5週の定点当たり報告数は5.74となり、前週よりは減少したものの、過去5年間の同時期の平均値を上回っており、引き続き発生動向を見守る必要がある
感染症関連情報	国内におけるSARS-CoV-2のゲノム解析／国立感染症研究所および地方衛生研究所等における全ゲノム解析により確認されたVOCs, VOIs, VUMs／病原体情報(速報記事)／海外感染症情報／その他
速報	＜今週は該当記事はありません＞

※ 詳細は国立感染症研究所感染症疫学センターのホームページをご覧ください。http://www.nih.go.jp/niid/ja/from-idsc.html

◆全数届出の感染症(福井県)

一類感染症：報告はありませんでした。
 二類感染症：報告はありませんでした。
 三類感染症：報告はありませんでした。
 四類感染症：レジオネラ症（丹南1名）の報告がありました。
 五類感染症全数把握対象：報告はありませんでした。
 新型インフルエンザ等感染症：新型コロナウイルス感染症（福井市509名、福井23名、坂井167名、奥越63名、丹南212名、二州93名、若狭61名、県外在住10名、非公表690名）の報告がありました。

類型	病名	年齢								
		0～9	10～19	20～29	30～39	40～49	50～59	60以上	非公表	
四類	レジオネラ症								1	
新型インフルエンザ等感染症	新型コロナウイルス感染症	138	146	155	177	175	120	239	678	

◆福井県感染症発生動向調査

[定点報告:五類感染症(週報分)] 令和4年 第7週 令和4年2月14日(月)～令和4年2月20日(日)

定点種別 (定点数)	保健所 病名	福井市	福井	坂井	奥越	丹南	二州	若狭	計	前週	全国(6週)
インフルエンザ (37)	インフルエンザ (鳥インフルエンザを除く)										37 0.01
小児科 (23)	RSウイルス感染症	1 0.14		3 1.00					4 0.17	12 0.52	824 0.26
	咽頭結膜熱					2 0.40		1 0.50	3 0.13	7 0.30	409 0.13
	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	2 0.29				3 0.60	3 1.00	2 1.00	10 0.43	5 0.22	997 0.32
	感染性胃腸炎	62 8.86	7 7.00	16 5.33		35 7.00	37 12.33	11 5.50	168 7.30	170 7.39	14269 4.55
	水痘							1 0.50	1 0.04	4 0.17	180 0.06
	手足口病	2 0.29		1 0.33		12 2.40	6 2.00		21 0.91	26 1.13	422 0.13
	伝染性紅斑			1 0.33		1 0.20			2 0.09	2 0.09	38 0.01
	突発性発しん	2 0.29		1 0.33		4 0.80	1 0.33	1 0.50	9 0.39	6 0.26	716 0.23
	ヘルパンギーナ	5 0.71				2 0.40			7 0.30	4 0.17	69 0.02
	流行性耳下腺炎										54 0.02
眼科 (3)	急性出血性結膜炎										1 0.00
	流行性角結膜炎		*	*	*		*	*		1 0.33	83 0.12
基幹 (6)	細菌性髄膜炎									1 0.17	6 0.01
	無菌性髄膜炎										4 0.01
	マイコプラズマ肺炎										4 0.01
	クラミジア肺炎(オウム病は除く)		*	*							
	感染性胃腸炎(ロタウイルス)										3 0.01
	インフルエンザ(入院患者数)										2 0.01

インフルエンザは、小児科定点+内科定点
 細字は定点当たり患者数

*欄には定点はありません

◆福井県感染症発生動向調査(定点報告:五類感染症)

令和4年第7週 令和4年2月14日(月)～令和4年2月20日(日)

インフルエンザ 定点	インフルエ ンザ(鳥イン フルエンザ を除く)	小児科 定点	RSウイ ルス感 染症	咽頭結 膜熱	A群溶 血性レ ンサ球 菌咽頭 炎	感染性 胃腸炎	水痘	手足口 病	伝染性 紅斑	突発性 発しん	ヘルパ ンギー ナ	流行性 耳下腺 炎	眼科・基幹 定点	急性出血 性結膜炎	流行性角 結膜炎	細菌性髄 膜炎	無菌性髄 膜炎	マイコプラ ズマ肺炎	クラミジア 肺炎(オウ ム病を除く)	感染性胃 腸炎(ロタ ウイルス)	インフル エンザ(入 院患者 数)	
～5ヶ月		～5ヶ月				1							～5ヶ月									
～11ヶ月		～11ヶ月	1			8				5			～11ヶ月									
1歳		1歳	3	1		20		12	1	3	2		1歳									
2歳		2歳				33		6			1		2歳									
3歳		3歳		1	2	27		3	1		3		3歳									
4歳		4歳			2	18				1			4歳									
5歳		5歳			2	17					1		5歳									
6歳		6歳			1	12	1						6歳									
7歳		7歳		1	2	7							7歳									
8歳		8歳				5							8歳									
9歳		9歳				4							9歳									
10～14歳		10～14歳			1	12							10～14歳									
15～19歳		15～19歳				1							15～19歳									
20～29歳		20歳以上				3							20～29歳									
30～39歳													30～39歳									
40～49歳													40～49歳									
50～59歳													50～59歳									
60～69歳													60～69歳									
70～79歳													70歳以上									
80歳以上																						
合計		合計	4	3	10	168	1	21	2	9	7		合計									
前期計		前期計	12	7	5	170	4	26	2	6	4		前期計		1	1						
当期間/前期	***	当期間/前期	0.33	0.43	2	0.99	0.25	0.81	1	1.5	1.75	***	当期間/前期	***			***	***	***	***		
増減数		増減数	-8	-4	5	-2	-3	-5		3	3		増減数		-1	-1						

***は前期計が"0"のとき